

活動参加者への注意事項

以下の点を事前に活動参加者に御指導ください。また、次ページに研修生向けの説明資料がありますので、事前指導等にお使いください。

★ 活動の目的を団体指導者と共に確認し、活動参加者が意識しておくようにする。ふざけ半分の状態では活動させない。自然が相手だからこそ厳しく、油断は許されないことを伝える。

(1) 活動参加者は、事前に団体指導者から、当日は所員及び海洋指導員から活動についての説明を受け、理解した上で活動に参加する。

(2) 運動できる服装で参加し、雨天時に使用する雨具（カッパ）は、上下が分かれるものとする。熱中症予防のため、帽子は必ず着用する。漁船等他船からよく見えるように、目立つ明るい色のものが望ましい。また、あご紐付きなど、風に飛ばされることがないように注意が必要である。足下の怪我を防ぐため、運動靴、くるぶしが隠れる長さのくつ下を着用する。サンダル（クロックスタイプを含む）は不可とする。

※ 服装を整えることが安全に対する意識の第一である。

(3) ライフジャケットを正しく着用する。ライフジャケットが正しく着用できていれば、万一落水した場合でも体は確実に浮く。落水した場合、つま先を水面に出すように仰向けになって浮かび、静かに救助を待つ。

※ 確実に装着することで、安全に対しての意識を強化する。

(4) 乗船、下船はカヌーが確実に着岸している状態で、所員または海洋指導員の指示のもとに行う。

※ 特に怪我や落水の発生しやすい部分であり、慎重に行う。

(5) 乗船中は、所員及び海洋指導員の指示に従う。

※ 指示に従えない者は活動を中止する。

(6) カヌーと岸壁との距離が近いときには、手をはさまないようにするため、絶対に船舷（船べり）をさわらない。 <赤ペンキで塗ってある所をさわらない>

(7) 乗船中は、必要のない限り立ち上がったたり移動したりしない。

(8) パドルを1人1本持つ。陸上を移動する際は、パドルを地面に突かないようにする。また、船上でパドルを使用しないときには、両足の間に立てて、両手で持つ。

(9) 緊急事態発生時（落水、転覆など）は、所員及び海洋指導員の指示に従う。

(10) 活動参加者は、自分の乗船する艇番号と乗船位置番号（及び左右）を覚えた上で、活動に臨む。また、併せて可能な限り前後左右に誰がいるか把握し、活動に臨むものとする。

※ 水分補給について

活動エリアの大部分が直接日差しを受ける場所となるため、熱中症等の対策が必要です。団体指導者は活動参加者の水分補給について配慮してください。

(1) 海洋活動を実施する団体は、原則として海洋活動用ドリンクを注文していただきます。ドリンクの注文は食事注文票にて注文してください。

(2) 団体が飲み物を持ち込む場合は、団体の責任で運搬、冷却、保管、空容器の処理等を行ってください。その場合、全ての活動参加者（乗船する団体指導者を含む）が確実に水分補給できるようにしてください。

(3) 注文されたドリンクは、休憩場所で飲みます。気温の高い日などは、活動前、終了後にも水分をとる方が良いので、水筒などがある場合には艇庫までお持ちください。（安全上、水筒をカヌーに持ち込むことはできません。）